

## 2010年度 情報モラル調査結果(過年度比較)

2011年3月31日

岐阜県教育委員会

### 【 実施概要 】

＜調査対象＞ 岐阜県内公立の小中高等学校及び特別支援学校高等部

小学校            5年・6年 の児童  
 中学校            1年・2年・3年 の生徒  
 高等学校        1年・2年・3年 の生徒  
 特別支援学校 高等部 1年・2年・3年 の生徒

＜調査方法＞ 各学校で、校舎別・課程別・学年別に1クラスを抽出して、無記名アンケートにより調査

＜実施期間＞ 2010年 11月～12月

＜調査数＞ ※ 「高」は特別支援学校高等部を含む

(2010年度)

学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小	中	高・特	合計
学校数	375	376	189	190	190	81	80	81	376	190	81	1,562
クラス数	375	376	190	191	191	93	92	92	751	572	277	1,600
<b>人数</b>	<b>9,699</b>	<b>9,834</b>	<b>5,888</b>	<b>5,716</b>	<b>5,682</b>	<b>2,757</b>	<b>2,642</b>	<b>2,534</b>	<b>19,533</b>	<b>17,086</b>	<b>7,933</b>	<b>44,552</b>
男子	4,943	4,917	2,910	2,906	2,850	1,469	1,438	1,309	9,860	8,666	4,216	22,742
女子	4,756	4,917	2,778	2,810	2,832	1,288	1,204	1,225	9,673	8,420	3,717	21,810
男女比(%)	51 : 49	50 : 50	51 : 49	51 : 49	50 : 50	53 : 47	54 : 46	52 : 48	50 : 50	51 : 49	53 : 47	51 : 49

(2009年度)

学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小	中	高・特	合計
<b>人数</b>	<b>10,534</b>	<b>10,602</b>	<b>5,820</b>	<b>5,928</b>	<b>5,699</b>	<b>2,757</b>	<b>2,668</b>	<b>2,594</b>	<b>21,136</b>	<b>17,447</b>	<b>8,019</b>	<b>46,602</b>
男女比(%)	51 : 49	51 : 49	51 : 49	51 : 49	51 : 49	49 : 51	51 : 49	54 : 46	51 : 49	51 : 49	51 : 49	51 : 49

### 【 調査結果の概要 】 ( 過年度比較 )

◆本年度の調査より、メールや掲示板の書き込みによる「ネットいじめ」について、一般的な被害の他に

- ・いじめを受けたことの有無について (Q 17)
- ・いじめを受けたと感じた理由について (Q 18)
- ・いじめを受けた原因について (Q 19)

の3つの問いを新たに加えた。

◆【携帯電話・インターネット使用について】

- ・PCによるインターネット使用はやや増加傾向にある。
- ・携帯電話所持率は中1・高1を除きやや減少の傾向にある。
- ・フィルタリング率は小5を除き向上。7割に達する学年も見られるようになった。
- ・掲示板等への書き込みの割合が低下する一方で一部の学年で、オンラインゲームやプロフ等の利用率が増加している。
- ・携帯電話を毎日使う割合や、長時間使う割合が低下している学年が多い。

【使い方のルールやマナーについて】

- ・学校や家庭における情報モラル教育の広がりが少しずつ現れてきている。一方、具体的なルールを持たないまま使わせている家庭も未だに多く存在する。

【被害・ネットいじめとその対応について】

- ・多くの学年で被害率は減少傾向にある。今回の調査により少数ではあるが、「ネットいじめ」として児童生徒がとらえている実態が明らかとなった。
- ・被害を受けた場合、大人に相談する割合が低く今後とも指導と相談体制の充実が求められる。

◆【参考資料】

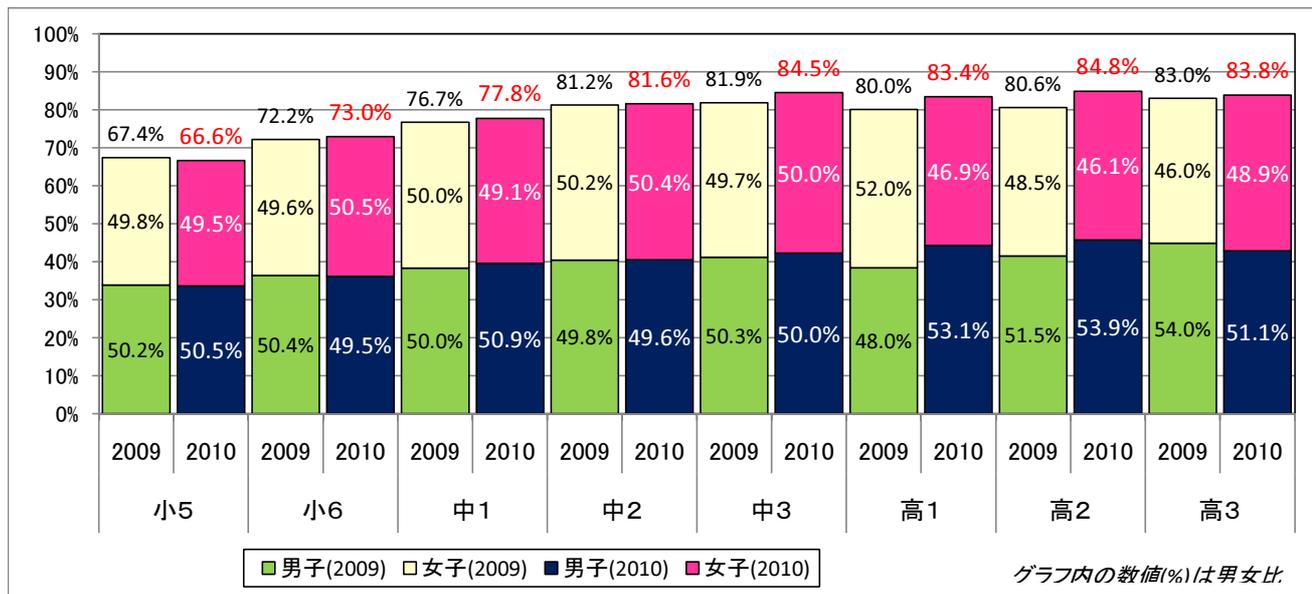
- ・調査結果の中に「ハンドブック」と表記されているのは、文部科学省「学校における情報モラル等教育の推進事業(指導者養成事業)」のテキストです。以下のURLよりダウンロードしてください。

[http://www.cec.or.jp/monbu/21jmorale\\_data.html](http://www.cec.or.jp/monbu/21jmorale_data.html)

# Q1

家に、インターネットに接続できて、あなたが使えるパソコンがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		ある	2010	<b>66.6%</b>	<b>73.0%</b>	<b>77.8%</b>	<b>81.6%</b>	<b>84.5%</b>	<b>83.4%</b>	<b>84.8%</b>	<b>83.8%</b>	<b>69.8%</b>
	2009	67.4%	72.2%	76.7%	81.2%	81.9%	80.0%	80.6%	83.0%	69.8%	79.9%	81.2%

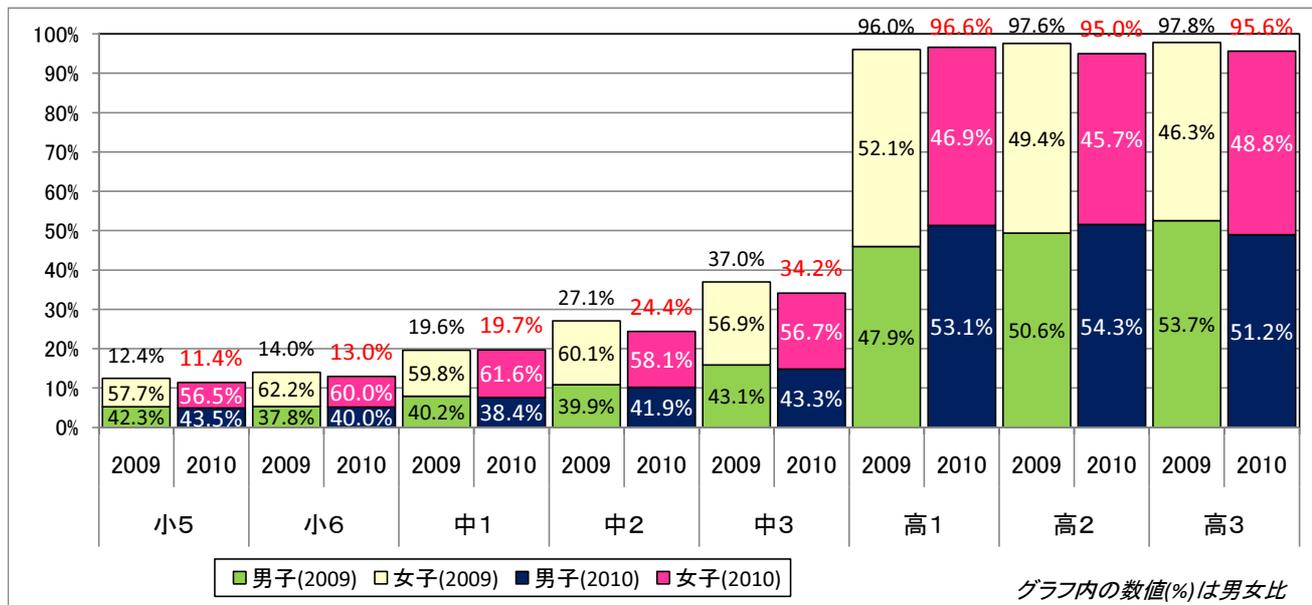


◆小5を除く他の学年で微増している。家庭におけるインターネット使用が広がり続けている。  
 【指導のポイント】ハンドブックP2～3参照  
 ○家庭の中で子どもが「一人きり」で使っていることがないか確認する。  
 ○家庭のパソコンにも「フィルタリングソフト」を導入し、子どもを有害な情報にふれさせないよう保護者にすすめていく。

# Q2

あなたは、自分の携帯電話をもっていますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		もっている	2010	<b>11.4%</b>	<b>13.0%</b>	<b>19.7%</b>	<b>24.4%</b>	<b>34.2%</b>	<b>96.6%</b>	<b>95.0%</b>	<b>95.6%</b>	<b>12.2%</b>
	2009	12.4%	14.0%	19.6%	27.1%	37.0%	96.0%	97.6%	97.8%	13.2%	27.9%	97.1%

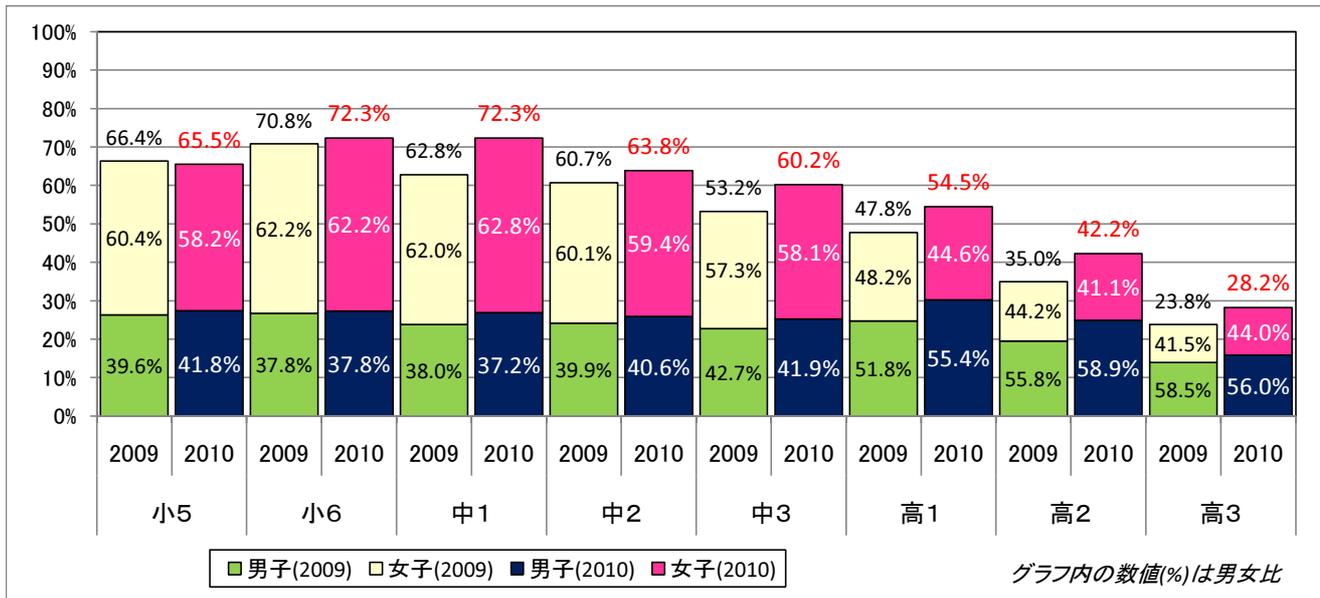


◆中1、高1といった「生活形態の変化」の大きい時期の生徒には、携帯所持率のわずかな増加が見られる一方で、他の学年では低下傾向が見られる。本当に必要か考えて購入する家庭が増えてきていることがうかがえる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP2～3参照  
 ○小学校の早い時期から、情報モラル教育の一環として「携帯の必要性を考えさせる」学習を行っておく。

### Q3

あなたの携帯電話はフィルタリングしていますか。(Q2で「もっている」と答えた人のみ)

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		2010	65.5%	72.3%	72.3%	63.8%	60.2%	54.5%	42.2%	28.2%	69.2%	64.4%
	2009	66.4%	70.8%	62.8%	60.7%	53.2%	47.8%	35.0%	23.8%	68.7%	57.9%	35.7%

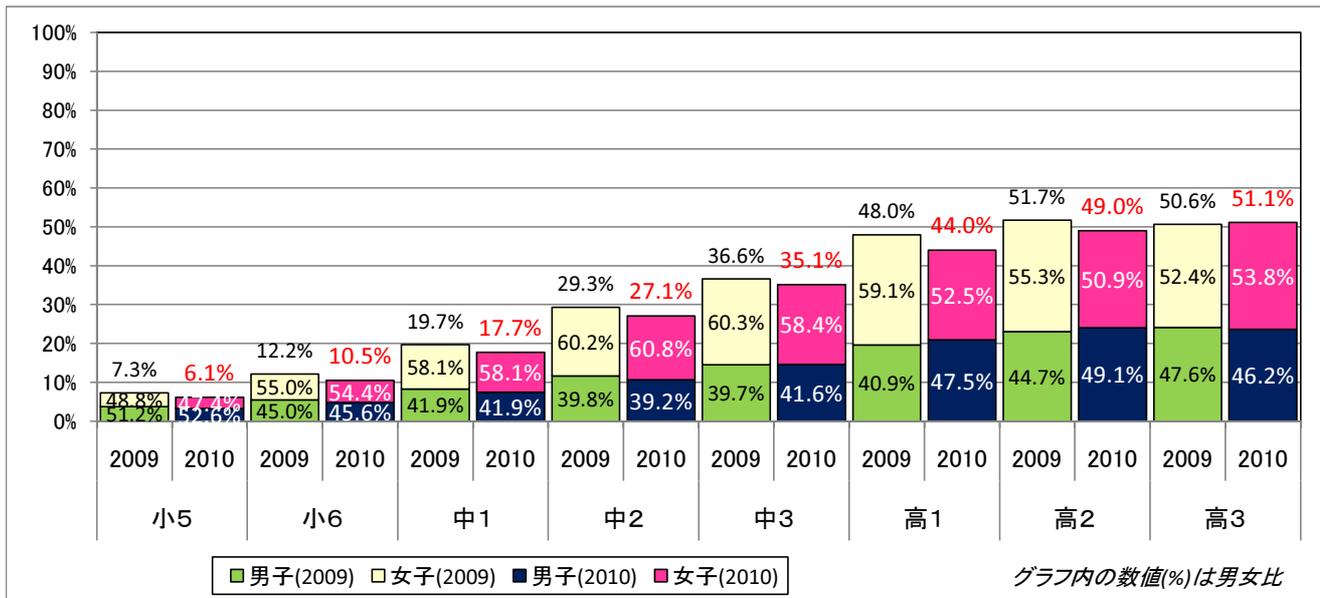


◆多くの学年でフィルタリング率が向上している。小6、中1で7割を越える。子どもの安全な利用に対する意識の広がりが見えてくる。一方、他の学年ではまだフィルタリング率が低くとどまっている。  
 【指導のポイント】→ハンドブックP24参照  
 ○フィルタリングを保護者の責任で必ず行うよう啓発していく。また、安易にフィルタリング解除をしないよう生徒・保護者に指導していく。

### Q4

あなたは、インターネットや携帯電話の掲示板に書き込みをしたことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		2010	6.1%	10.5%	17.7%	27.1%	35.1%	44.0%	49.0%	51.1%	8.3%	26.6%
	2009	7.3%	12.2%	19.7%	29.3%	36.6%	48.0%	51.7%	50.6%	9.7%	28.5%	50.1%

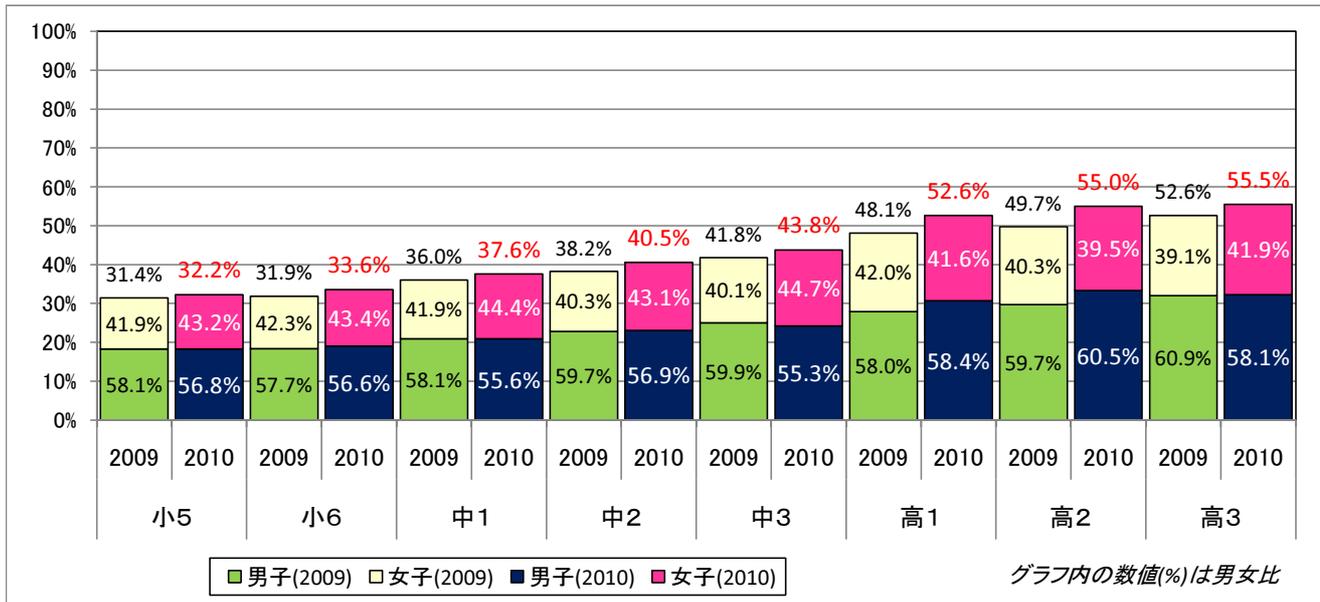


◆中学生の掲示板書き込みが3年連続で低下し続けている。ほぼ全ての学年でこの傾向がみられ、安易な書き込みに対する指導がなされていることがうかがえる。一方では、女子の書き込み率が依然として多く、指導が必要である。  
 【指導のポイント】→ハンドブックP12～13参照  
 ○犯罪や人権侵害に発展する場合は、電話会社や警察などによって発信者を特定することができることを伝え、匿名性を悪用する事のないよう指導していく。

### Q5

あなたは、オンラインゲームをしたことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		ある	2010	32.2%	33.6%	37.6%	40.5%	43.8%	52.6%	55.0%	55.5%	32.9%
	2009	31.4%	31.9%	36.0%	38.2%	41.8%	48.1%	49.7%	52.6%	31.6%	38.6%	50.1%

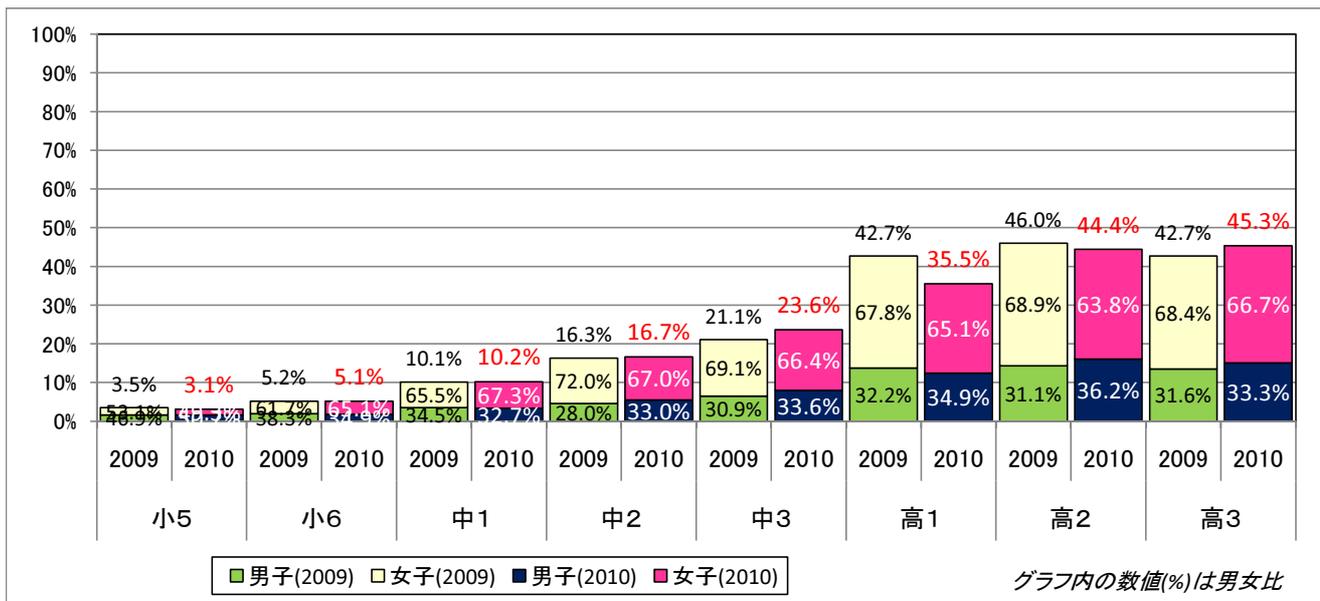


◆すべての学年でオンラインゲームの使用率が増加している。女子向けのゲームが増えてきたことにより女子の割合が増えている学年が多い。暇つぶしに携帯電話を使用している姿がうかがえる。  
 【指導のポイント】→ハンドブックP3・17参照  
 ○ゲームの中で知り合った人に安易に個人情報を伝え、被害にあってしまう事例や、ゲームを長くやり過ぎることにより睡眠時間が減り健康を損なってしまった例などを具体的に示し指導していく。

### Q6

あなたは、携帯(電話やパソコンから見る事ができる自分のホームページ(ブログ・プロフを含む))をもっていますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		もっている	2010	3.1%	5.1%	10.2%	16.7%	23.6%	35.5%	44.4%	45.3%	4.1%
	2009	3.5%	5.2%	10.1%	16.3%	21.1%	42.7%	46.0%	42.7%	4.4%	15.8%	43.8%

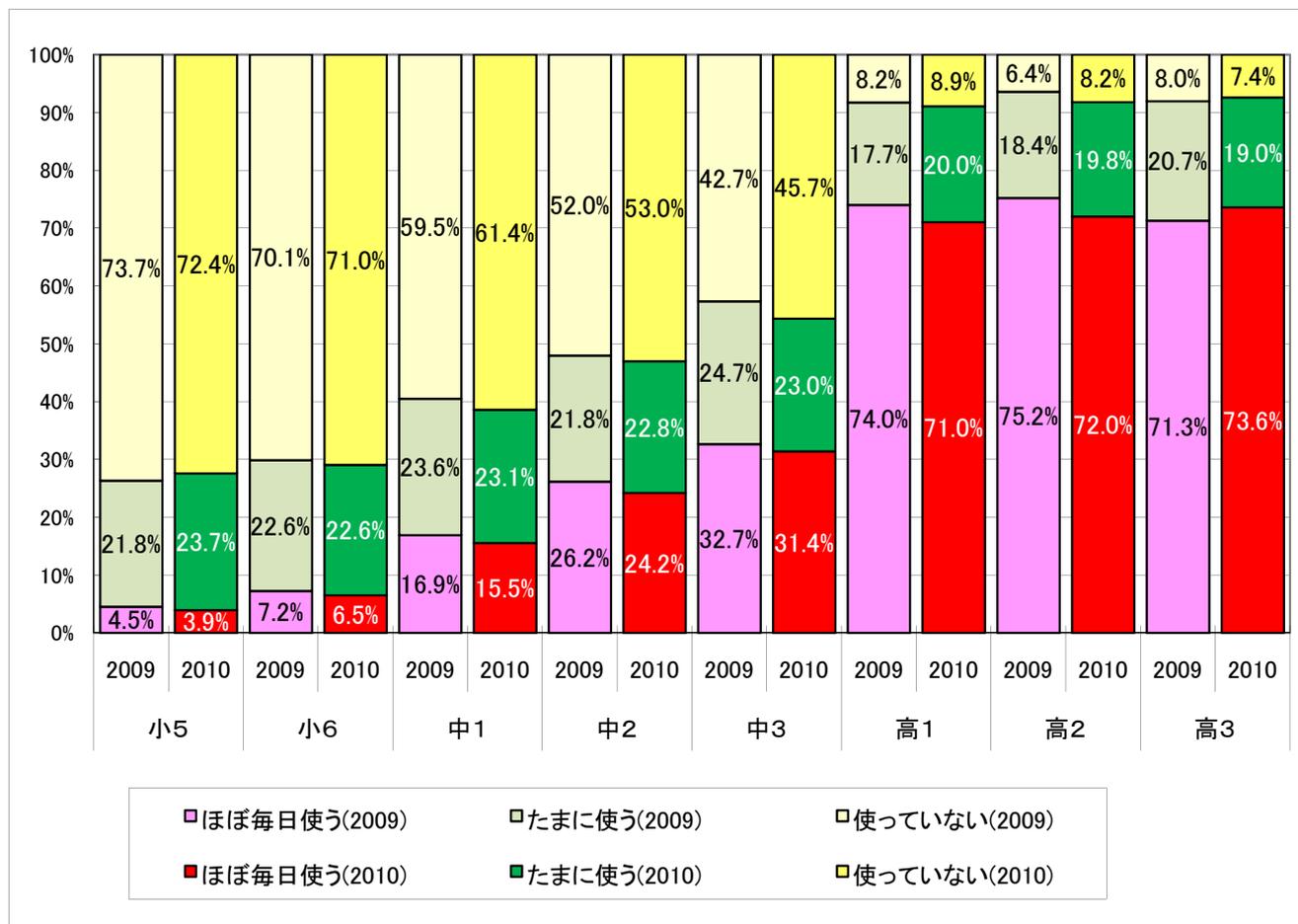


◆ブログやプロフを利用し、児童生徒が簡単に情報発信をしている様子が見られる。利用の割合が多くなる中高生では男子が利用する割合が増加する傾向が見られる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP3・10・11・16参照  
 ○ブログやプロフに個人情報や自分の写真等「個人を特定できる情報」を公開しないよう指導をする。つままといやしっこ迷惑メールにあった事例をもとに個人情報等の公開の持つ危険性を具体的に考えさせていく。

**Q7**

ホームページを見たり、メールをしたり、掲示板を使ったり、オンラインゲームをしたりするために、携帯電話をどれくらい使いますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
ほぼ毎日使う	2010	3.9%	6.5%	15.5%	24.2%	31.4%	71.0%	72.0%	73.6%	5.2%	23.7%	72.2%
	2009	4.5%	7.2%	16.9%	26.2%	32.7%	74.0%	75.2%	71.3%	5.9%	25.2%	73.6%
たまに使うだけ	2010	23.7%	22.6%	23.1%	22.8%	23.0%	20.0%	19.8%	19.0%	23.1%	23.0%	19.6%
	2009	21.8%	22.6%	23.6%	21.8%	24.7%	17.7%	18.4%	20.7%	22.2%	23.3%	18.9%
使っていない	2010	72.4%	71.0%	61.4%	53.0%	45.7%	8.9%	8.2%	7.4%	71.7%	53.4%	8.2%
	2009	73.7%	70.1%	59.5%	52.0%	42.7%	8.2%	6.4%	8.0%	71.9%	51.4%	7.6%



◆高3を除く他の学年で「ほぼ毎日使う」割合が低下している。児童生徒が「携帯依存」の怖さに気づき始めている事がうかがえる。小学生の早い時期から、不必要な使用の習慣が身につかないようにしていく必要がある。

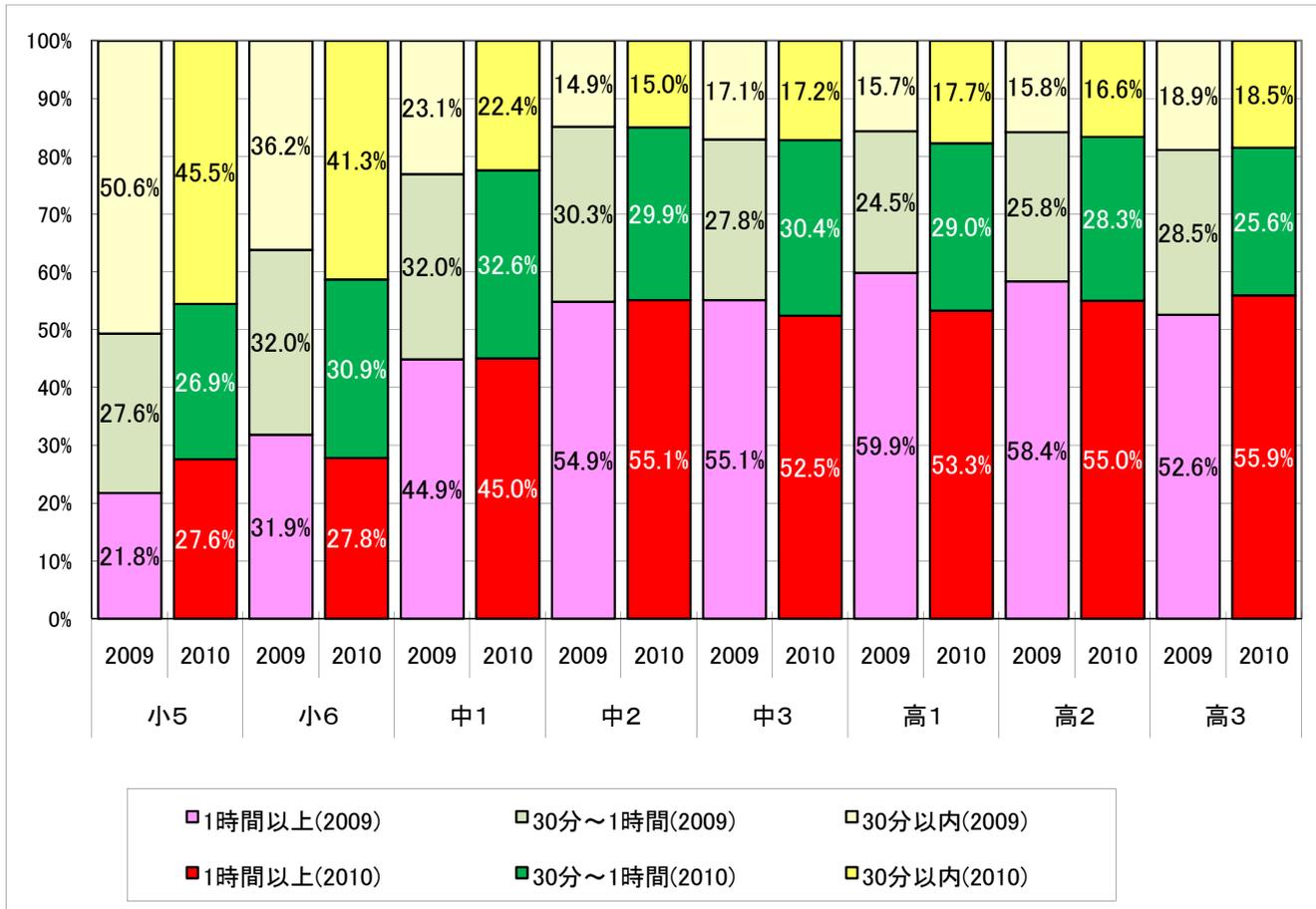
【指導のポイント】→ハンドブックP17参照

○「携帯依存」が、心身の健康を損なってしまうことを実例を挙げて理解させていくようにする。

**Q8**

Q7で「ほぼ毎日」と答えた人は、使う時間は1日当たりどれくらいですか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
1時間以上	2010	<b>27.6%</b>	<b>27.8%</b>	<b>45.0%</b>	<b>55.1%</b>	<b>52.5%</b>	<b>53.3%</b>	<b>55.0%</b>	<b>55.9%</b>	<b>27.7%</b>	<b>51.8%</b>	<b>54.7%</b>
	2009	21.8%	31.9%	44.9%	54.9%	55.1%	59.9%	58.4%	52.6%	28.0%	52.8%	57.1%
30分～1時間	2010	<b>26.9%</b>	<b>30.9%</b>	<b>32.6%</b>	<b>29.9%</b>	<b>30.4%</b>	<b>29.0%</b>	<b>28.3%</b>	<b>25.6%</b>	<b>29.3%</b>	<b>30.7%</b>	<b>27.7%</b>
	2009	27.6%	32.0%	32.0%	30.3%	27.8%	24.5%	25.8%	28.5%	30.3%	29.6%	26.2%
30分以内	2010	<b>45.5%</b>	<b>41.3%</b>	<b>22.4%</b>	<b>15.0%</b>	<b>17.2%</b>	<b>17.7%</b>	<b>16.6%</b>	<b>18.5%</b>	<b>42.9%</b>	<b>17.6%</b>	<b>17.6%</b>
	2009	50.6%	36.2%	23.1%	14.9%	17.1%	15.7%	15.8%	18.9%	41.7%	17.6%	16.7%



◆ほとんどの学年で、「1時間以上使用する」と答えた割合が減っている。一方、小5では1時間以上携帯電話に向かう割合が他の学年に比べて大きく伸びている。早い時期から携帯依存の傾向が現れるようになってきている。

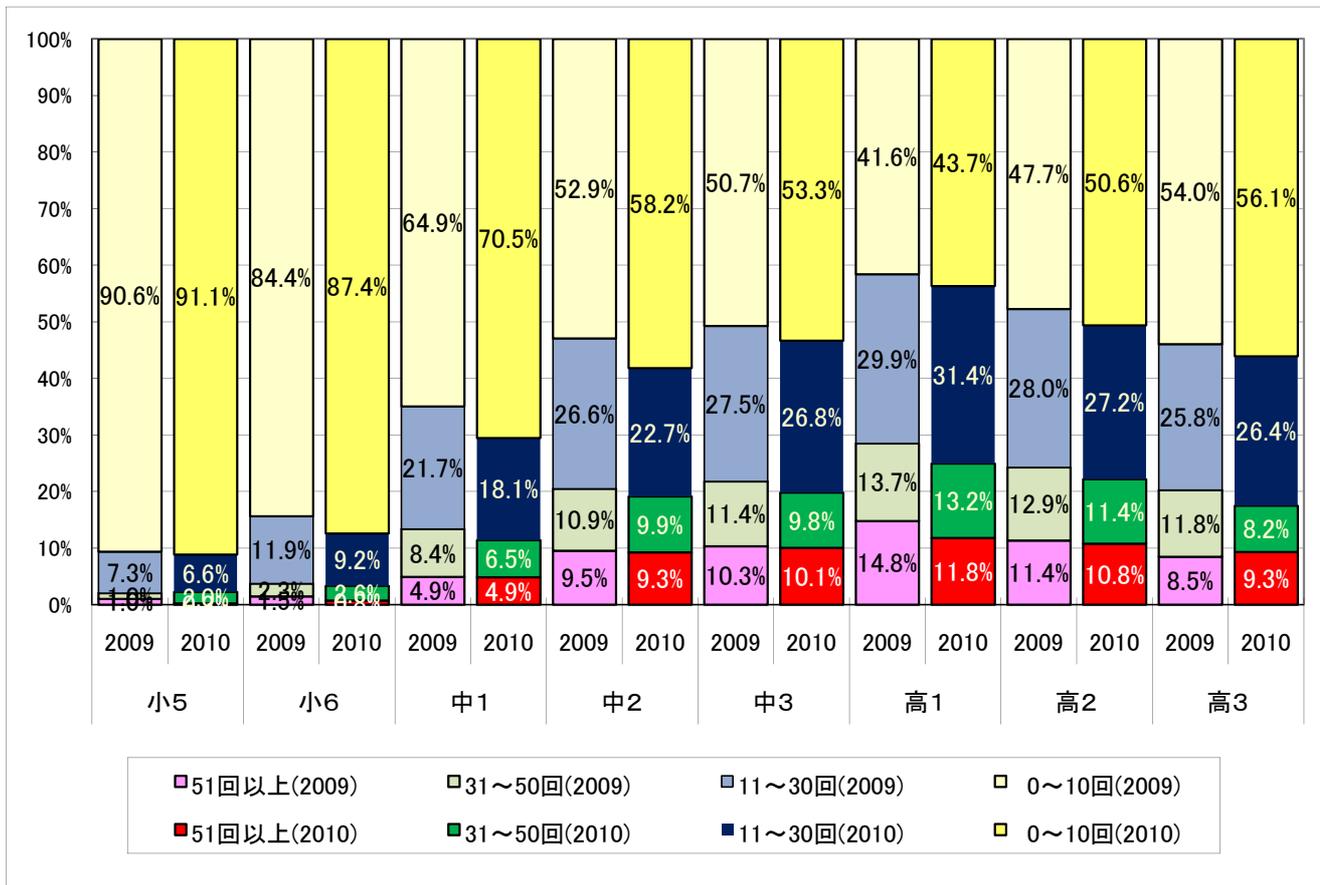
【指導のポイント】ハンドブックP17・31参照

○塾通い等の必要性から携帯電話を購入する事例(小4携帯デビュー)が増えてきている。家庭の決まりを明確にもたせることなど家庭と連携した指導を小4・中2など購入集中時前に行う。

**Q9**

Q7で「ほぼ毎日」「たまに」と答えた人は、電子メールを1日何回くらい使いますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
51回以上	2010	0.3%	0.8%	4.9%	9.3%	10.1%	11.8%	10.8%	9.3%	0.5%	8.4%	10.7%
	2009	1.0%	1.5%	4.9%	9.5%	10.3%	14.8%	11.4%	8.5%	1.3%	8.6%	11.6%
31回～50回	2010	2.0%	2.6%	6.5%	9.9%	9.8%	13.2%	11.4%	8.2%	2.3%	8.9%	11.0%
	2009	1.0%	2.3%	8.4%	10.9%	11.4%	13.7%	12.9%	11.8%	1.7%	10.4%	12.8%
11回～30回	2010	6.6%	9.2%	18.1%	22.7%	26.8%	31.4%	27.2%	26.4%	7.9%	23.0%	28.4%
	2009	7.3%	11.9%	21.7%	26.6%	27.5%	29.9%	28.0%	25.8%	9.8%	25.6%	27.9%
0回～10回	2010	91.1%	87.4%	70.5%	58.2%	53.3%	43.7%	50.6%	56.1%	89.3%	59.7%	49.9%
	2009	90.6%	84.4%	64.9%	52.9%	50.7%	41.6%	47.7%	54.0%	87.3%	55.4%	47.7%



◆「1日51回以上使う」割合が中学生は横ばい、高1・2はやや減少と、メール依存の児童生徒が減少している。メール1回の操作時間を2分とすると中学2年生以上では、毎日1時間半以上メールに時間を費やしていることになる。

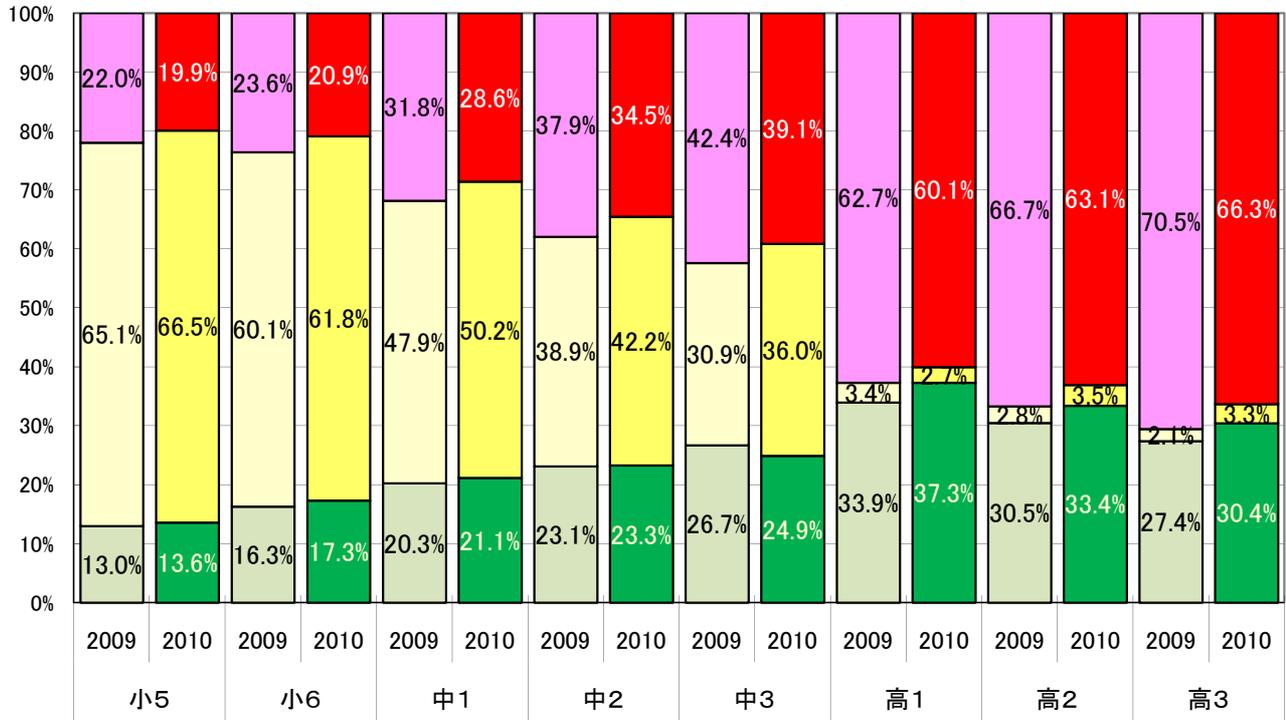
【指導のポイント】ハンドブックP12・14・15参照

○1回の操作に想定される時間により、小学生10回(30分以内)中学生20回(40分程度)高校生30回(60分以内)など、具体的な数値を考えさせながら指導していく。

**Q10**

あなたの家では、子どもが使う携帯電話(兄弟姉妹のものも含む)の利用のしかた(利用時間や利用料金など)は決められていますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
決められている	2010	13.6%	17.3%	21.1%	23.3%	24.9%	37.3%	33.4%	30.4%	15.4%	23.1%	33.8%
	2009	13.0%	16.3%	20.3%	23.1%	26.7%	33.9%	30.5%	27.4%	14.6%	23.3%	30.7%
使っていない	2010	66.5%	61.8%	50.2%	42.2%	36.0%	2.7%	3.5%	3.3%	64.2%	42.8%	3.1%
	2009	65.1%	60.1%	47.9%	38.9%	30.9%	3.4%	2.8%	2.1%	62.5%	39.3%	2.8%
決められていない	2010	19.9%	20.9%	28.6%	34.5%	39.1%	60.1%	63.1%	66.3%	20.4%	34.1%	63.1%
	2009	22.0%	23.6%	31.8%	37.9%	42.4%	62.7%	66.7%	70.5%	22.8%	37.4%	66.6%



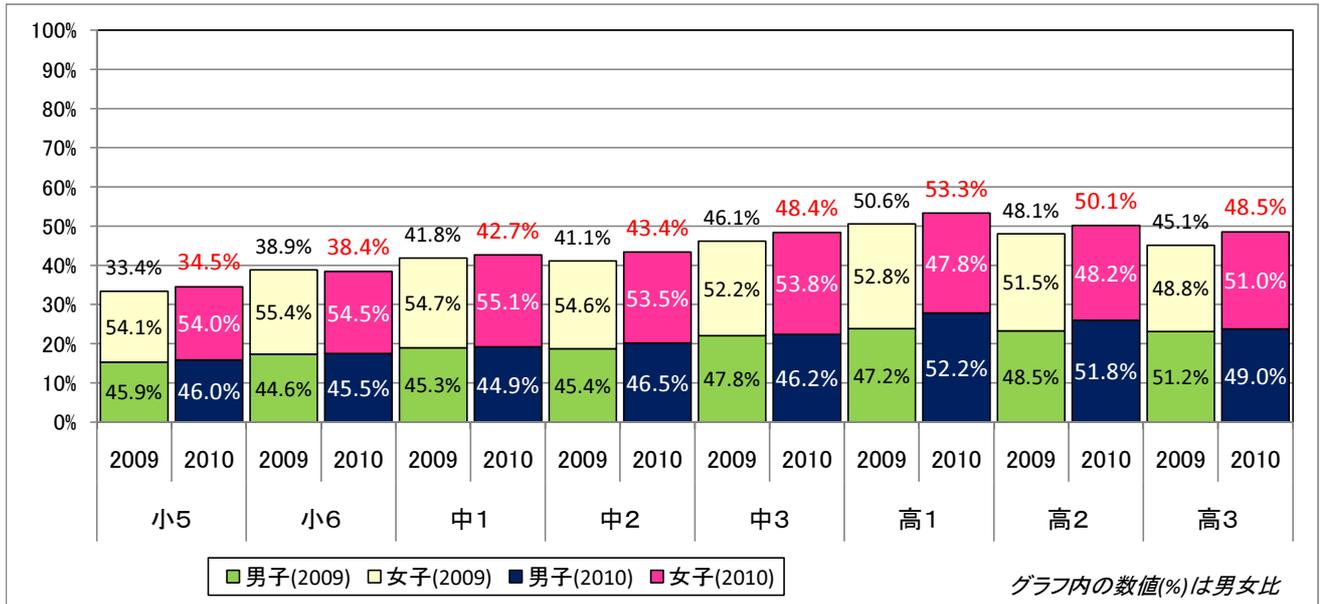
決められている(2009)       使っていない(2009)       決められていない(2009)  
 決められている(2010)       使っていない(2010)       決められていない(2010)

◆「利用の仕方が決められていない」割合が、全ての学年で減少している。買い与える保護者の意識があがってきたことがうかがえる。高校生の家庭では、「利用の仕方のきまり」を持たせる傾向が見られる一方で、小学生に「決まりを定めず」利用させている家庭が2割近く見られる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP28参照  
 ○家庭での「利用の決まり」が定められているかアンケート調査などを通し実態把握を行い、それぞれの家庭での決まりをつくるよう指導する。

### Q11

あなたは、家庭で情報モラルや携帯電話のマナーについて話を聞いたことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		2010	34.5%	38.4%	42.7%	43.4%	48.4%	53.3%	50.1%	48.5%	36.5%	44.8%
ある	2009	33.4%	38.9%	41.8%	41.1%	46.1%	50.6%	48.1%	45.1%	36.1%	43.0%	48.0%



◆情報モラルやマナーについて家庭で話し合う割合が、多くの学年で増加している。しかし、依然として小学生では3~4割、中高生では半数の家庭でしか話題になっていないのが現状である。

【指導のポイント】ハンドブックP28、県作成H22リーフレット参照

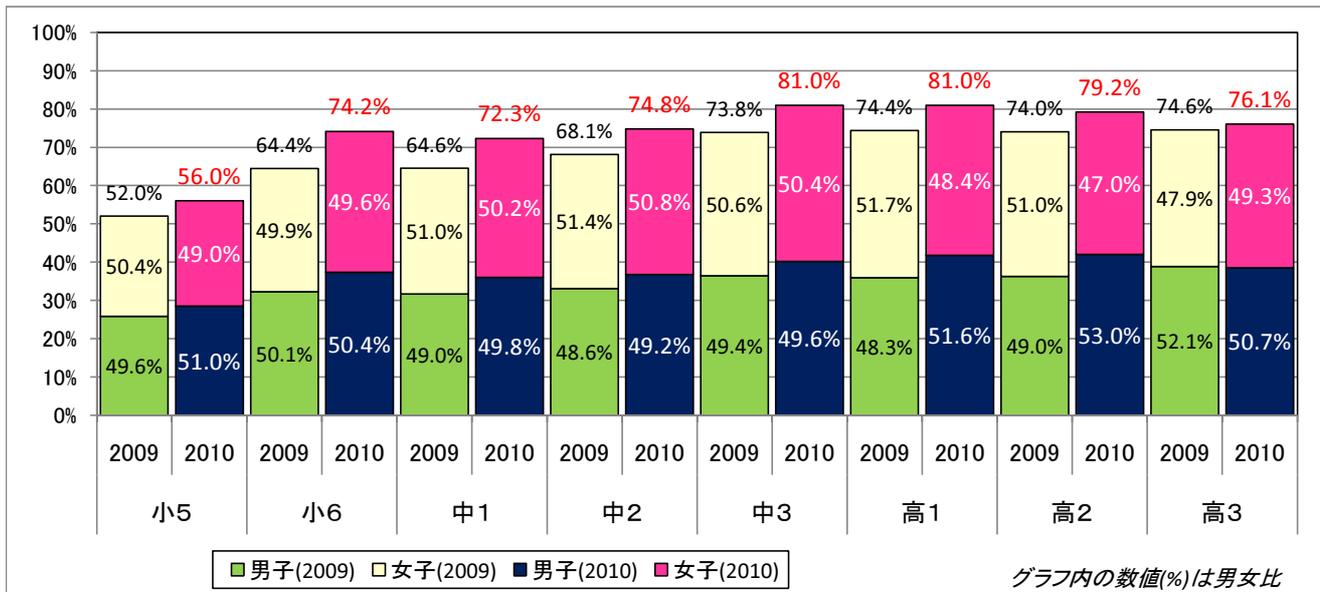
([http://gakuen.gifu-net.ed.jp/~contents/leaflet/h22moral\\_ura.pdf](http://gakuen.gifu-net.ed.jp/~contents/leaflet/h22moral_ura.pdf))

○県作成のリーフレット(H22・2月発行)等を利用し、家庭で話し合うよう啓発を行う。

### Q12

あなたは、学校の授業(朝の会、帰りの会を含む)で、情報モラルや携帯電話のマナーについて勉強したことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
		2010	56.0%	74.2%	72.3%	74.8%	81.0%	81.0%	79.2%	76.1%	65.1%	76.0%
ある	2009	52.0%	64.4%	64.6%	68.1%	73.8%	74.4%	74.0%	74.6%	58.2%	68.8%	74.3%



◆全ての学年で学校における情報モラル教育の広がりが現れている。特に、中3・高1のように所持率が増加する学年では、8割を超えるようになってきた。一方、小5では依然として情報モラル教育が半数程度しか行われていない状況が見られる。

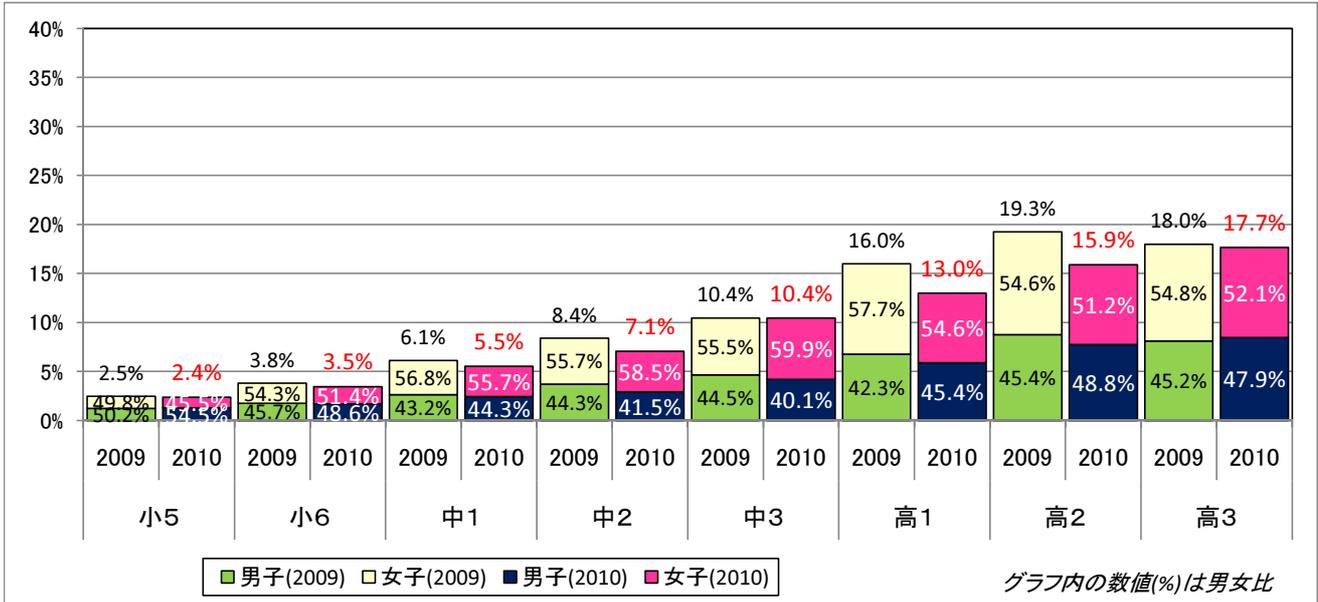
【指導のポイント】ハンドブックP3~9参照

○情報モラル指導モデルカリキュラム(ハンドブックP8)を参考に意図的・計画的に指導を行う。

**Q13**

あなたは、インターネットや携帯メールや掲示板などで、被害を受けたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
ある	2010	2.4%	3.5%	5.5%	7.1%	10.4%	13.0%	15.9%	17.7%	2.9%	7.7%	15.5%
	2009	2.5%	3.8%	6.1%	8.4%	10.4%	16.0%	19.3%	18.0%	3.1%	8.3%	17.7%



◆被害率が増加している学年は見られない。多くの学年で被害の割合が減少している。特に、高1～2では、減少傾向が著しい。被害にあわないための知識や技能を少しずつではあるが身につけてきている様子が見えてくる。

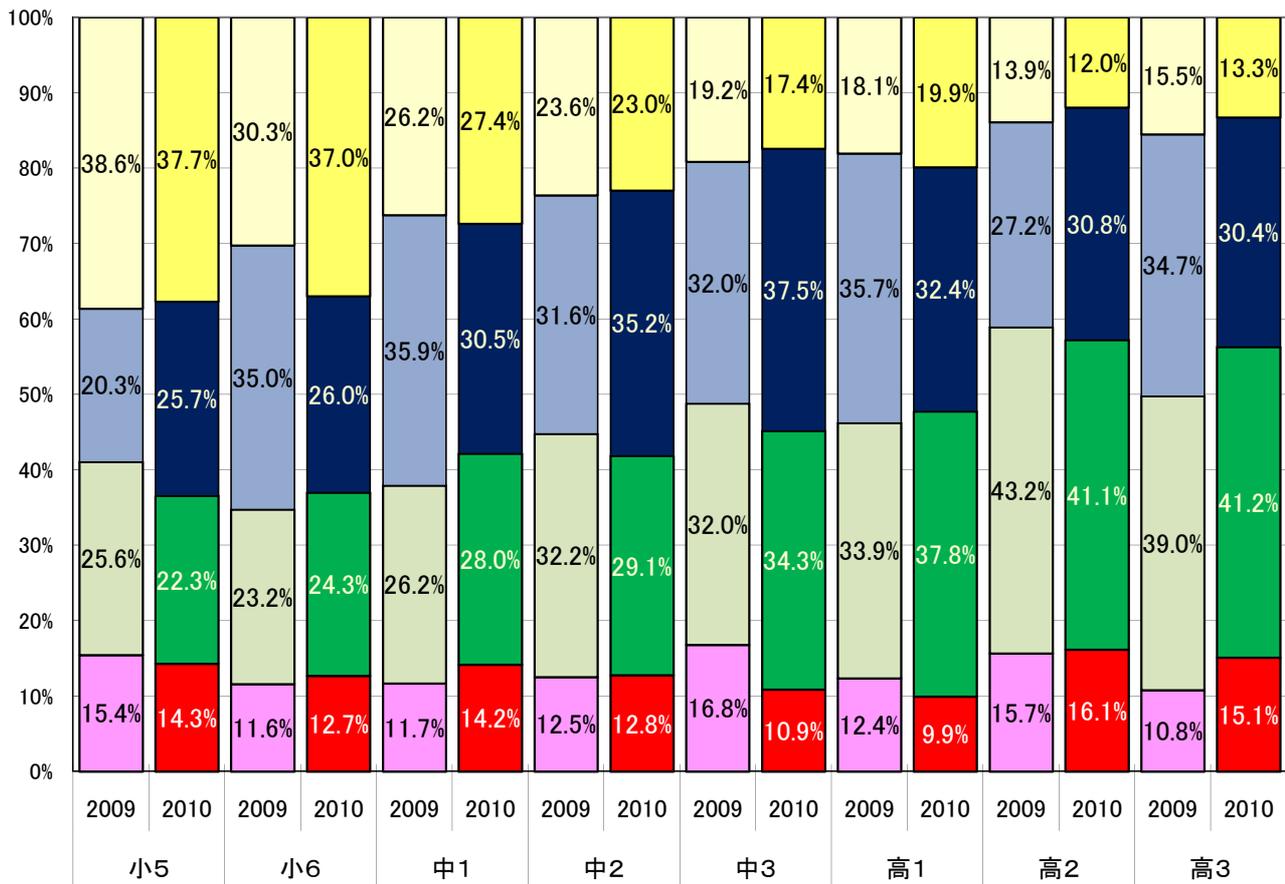
【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照

○被害にあった場合、「すぐに保護者など身近な信頼できる大人に相談すること」を徹底し、子ども自身で対処しないよう指導する。

**Q14**

被害を受けたとき、どうしましたか。(Q13で「ある」と答えた人のみ)

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
どうしていいかわからなかった ので、そのままにした	2010	14.3%	12.7%	14.2%	12.8%	10.9%	9.9%	16.1%	15.1%	13.3%	12.3%	13.9%
	2009	15.4%	11.6%	11.7%	12.5%	16.8%	12.4%	15.7%	10.8%	13.1%	14.1%	13.0%
何もしない方がいいと思っ て、そのままにした	2010	22.3%	24.3%	28.0%	29.1%	34.3%	37.8%	41.1%	41.2%	23.6%	31.0%	40.2%
	2009	25.6%	23.2%	26.2%	32.2%	32.0%	33.9%	43.2%	39.0%	24.1%	30.7%	39.0%
解決方法を知っていたので、 自分で解決した	2010	25.7%	26.0%	30.5%	35.2%	37.5%	32.4%	30.8%	30.4%	25.9%	35.0%	31.1%
	2009	20.3%	35.0%	35.9%	31.6%	32.0%	35.7%	27.2%	34.7%	29.2%	32.8%	32.3%
その他(相談等を含む)	2010	37.7%	37.0%	27.4%	23.0%	17.4%	19.9%	12.0%	13.3%	37.3%	21.7%	14.8%
	2009	38.6%	30.3%	26.2%	23.6%	19.2%	18.1%	13.9%	15.5%	33.5%	22.4%	15.7%



- どうしていいのかわからなかった  
ので、そのままにした(2009) □ 何も  
しない方がいいと思って、そのま  
まにした(2009)
- 解決方法を知っていたので自  
分で解決した(2009) □ その他  
(相談等を含む)(2009)
- どうしていいのかわからな  
かった  
ので、そのままにした(2010) ■ 何  
もしない方がいいと思っ  
て、そのま  
まにした(2010)
- 解決方法を知っていたので自  
分で解決した(2010) □ その他  
(相談等を含む)(2010)

◆どの学年でも、「自分で解決した」割合が3割近く見られる。近年の被害の実例では、「保護者等大人に相談させないよ  
うに仕向ける」事例が増えていることから危険性が高いといえる。また、相談する割合が学年があがるにつれ低くなる傾  
向が続いている。

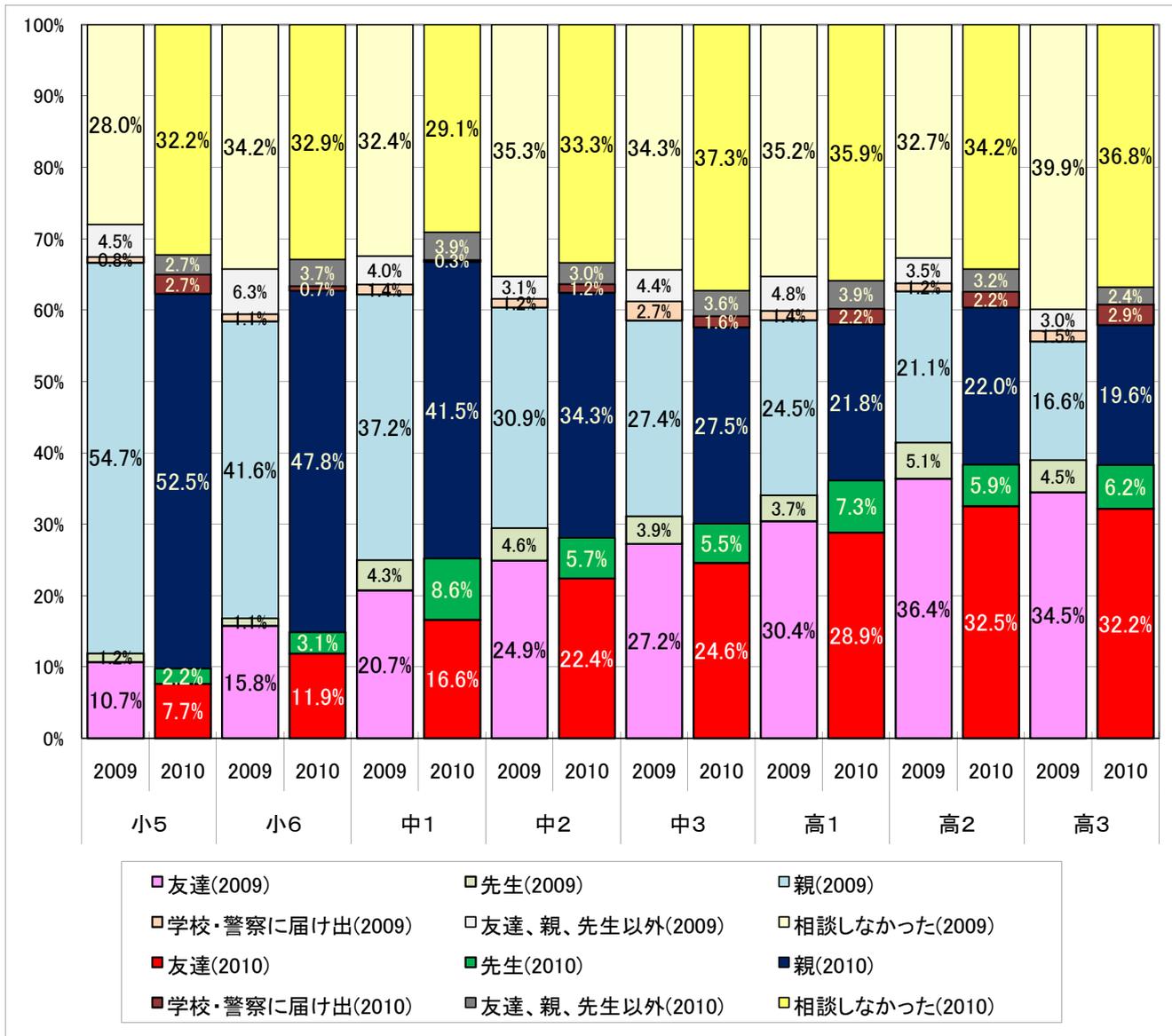
【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照

○架空請求等では「問い合わせ」を行うことで被害を拡大させることがある。あわてないで行動するように指導していく。

**Q15**

被害を受けたとき、誰かに相談しましたか。(Q13で「ある」と答えた人のみ)

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
友達	2010	7.7%	11.9%	16.6%	22.4%	24.6%	28.9%	32.5%	32.2%	10.3%	21.8%	31.3%
	2009	10.7%	15.8%	20.7%	24.9%	27.2%	30.4%	36.4%	34.5%	13.8%	24.8%	33.9%
先生	2010	2.2%	3.1%	8.6%	5.7%	5.5%	7.3%	5.9%	6.2%	2.7%	6.4%	6.4%
	2009	1.2%	1.1%	4.3%	4.6%	3.9%	3.7%	5.1%	4.5%	1.1%	4.2%	4.5%
親	2010	52.5%	47.8%	41.5%	34.3%	27.5%	21.8%	22.0%	19.6%	49.6%	33.2%	21.1%
	2009	54.7%	41.6%	37.2%	30.9%	27.4%	24.5%	21.1%	16.6%	46.7%	31.0%	20.7%
学校・警察に届け出	2010	2.7%	0.7%	0.3%	1.2%	1.8%	2.2%	2.2%	2.9%	1.5%	1.2%	2.5%
	2009	0.8%	1.1%	1.4%	1.2%	2.7%	1.4%	1.2%	1.5%	1.0%	1.9%	1.3%
友達・親・先生以外	2010	2.7%	3.7%	3.9%	3.0%	3.6%	3.9%	3.2%	2.4%	3.3%	3.5%	3.1%
	2009	4.5%	6.3%	4.0%	3.1%	4.4%	4.8%	3.5%	3.0%	5.6%	3.9%	3.8%
相談しなかった	2010	32.2%	32.9%	29.1%	33.3%	37.3%	35.9%	34.2%	36.8%	32.6%	33.9%	35.7%
	2009	28.0%	34.2%	32.4%	35.3%	34.3%	35.2%	32.7%	39.9%	31.8%	34.2%	35.8%

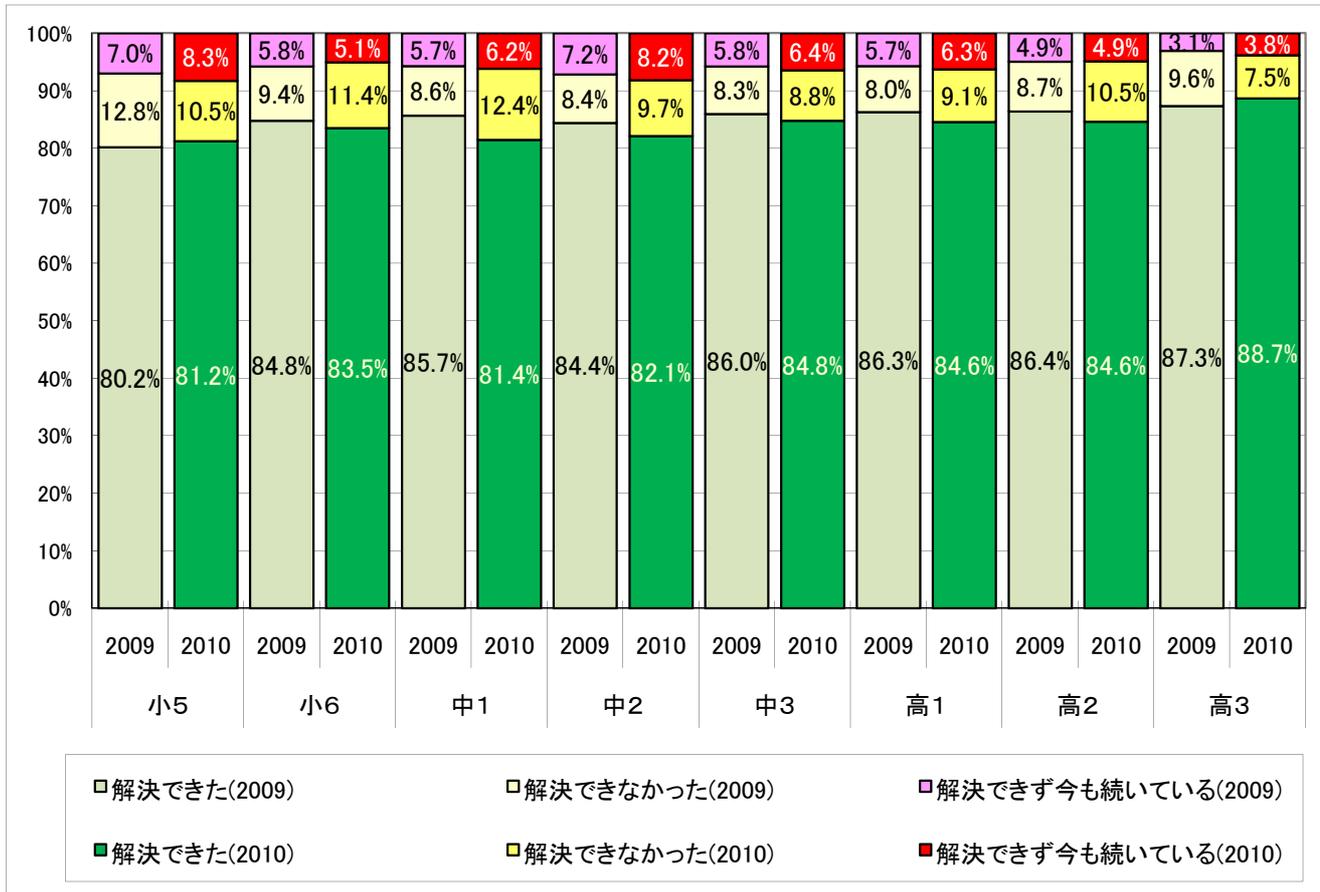


◆被害を受けながら「誰にも相談しなかった」割合が3割近く見られる。また、友達に相談することで解決しようとする傾向が学年があがるにつれ増加していく傾向がみられる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照  
 ○事案がもつ危険性を児童生徒が判断することが難しく、相談を受ける保護者にとっても簡単ではないのが現状である。専門的なアドバイスを受けられる機関を保護者会等で周知しておくようにする。

**Q16**

**解決できましたか。(Q13で「ある」と答えた人のみ)**

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
解決できた	2010	<b>81.2%</b>	<b>83.5%</b>	<b>81.4%</b>	<b>82.1%</b>	<b>84.8%</b>	<b>84.6%</b>	<b>84.6%</b>	<b>88.7%</b>	<b>82.6%</b>	<b>83.1%</b>	<b>86.1%</b>
	2009	80.2%	84.8%	85.7%	84.4%	86.0%	86.3%	86.4%	87.3%	83.0%	85.4%	86.7%
解決できなかった	2010	<b>10.5%</b>	<b>11.4%</b>	<b>12.4%</b>	<b>9.7%</b>	<b>8.8%</b>	<b>9.1%</b>	<b>10.5%</b>	<b>7.5%</b>	<b>11.1%</b>	<b>10.0%</b>	<b>9.0%</b>
	2009	12.8%	9.4%	8.6%	8.4%	8.3%	8.0%	8.7%	9.6%	10.8%	8.4%	8.8%
解決できず、今も続いている	2010	<b>8.3%</b>	<b>5.1%</b>	<b>6.2%</b>	<b>8.2%</b>	<b>6.4%</b>	<b>6.3%</b>	<b>4.9%</b>	<b>3.8%</b>	<b>6.3%</b>	<b>6.9%</b>	<b>4.9%</b>
	2009	7.0%	5.8%	5.7%	7.2%	5.8%	5.7%	4.9%	3.1%	6.3%	6.2%	4.6%

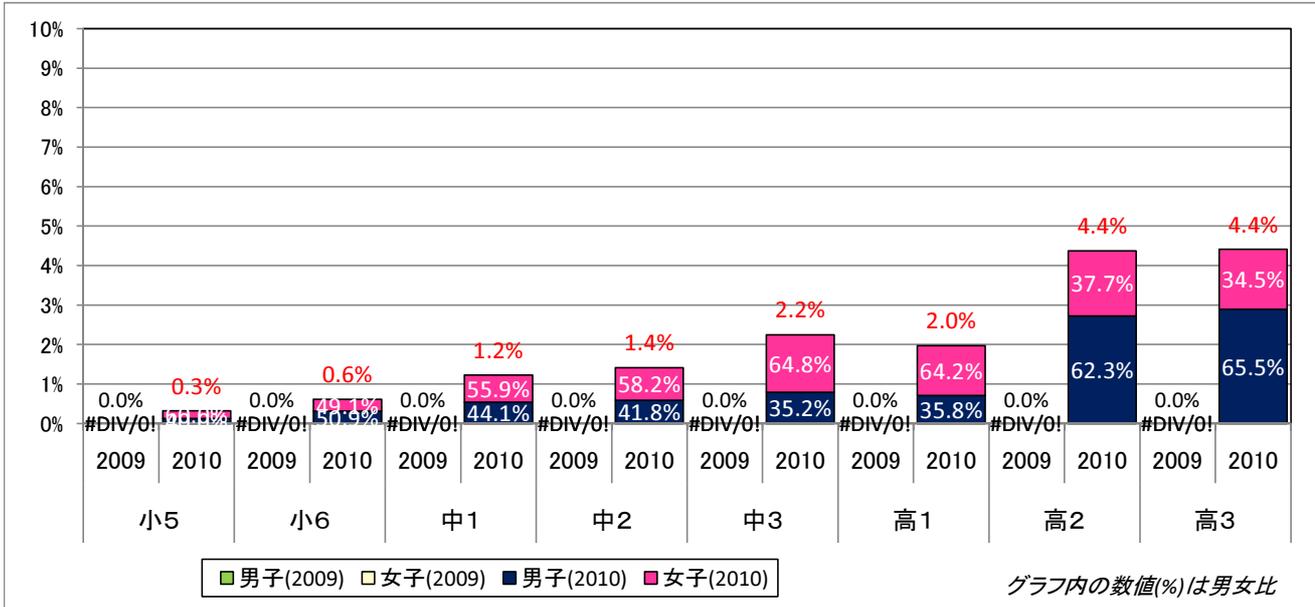


◆被害を受けて「解決できなかった」又は、「解決できず継続している」割合がどの学年にも1～2割見られる。特に、小5・中2といった購入者が増える時期に深刻な被害にあうことがうかがえる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照  
 ○被害にあわないためや、被害を最小限にとどめる「スキル(技能)」を、ハンドブック等の事例を活用して、事例学習(ケーススタディー)を行うようにし、「～のときは～する。」と明確に指導していく。

**Q17**

メールや掲示板的書き込みで、いじめを受けたことがありますか。

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
	ある	2010	0.3%	0.6%	1.2%	1.4%	2.2%	2.0%	4.4%	4.4%	0.5%	1.6%
2009		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

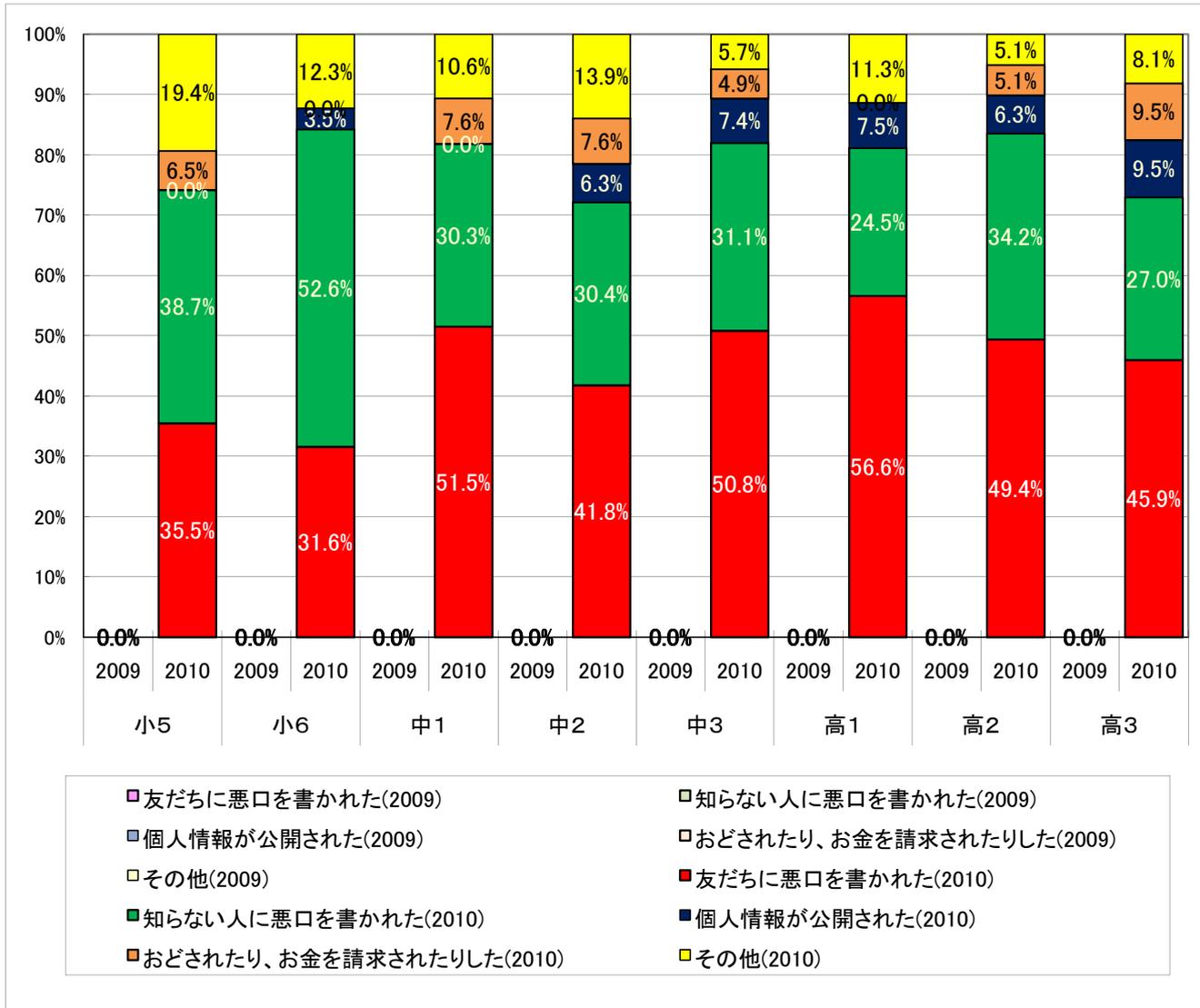


◆今年度よりネットいじめについて一般的被害と分けて調査し始めた新しい項目である。本県でも「ネットいじめ」が子どもたちの暮らしの中で実際に存在することを示している。小さな割合ではあるが、他のいじめと同様、被害にあった子どもたちの影響は計り知れないものであることを念頭において根絶させていかななくてはならない。  
 【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照  
 ○各学校相談体制を確立するとともに、「犯罪・人権侵害等に発展する場合は発信者を特定することができる」事を明確に指導し、匿名性等を悪用したネットいじめの根絶を図っていく。

**Q18**

いじめを受けたと感じた理由は何ですか。(Q17で「ある」と答えた人のみ)

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
友達に悪口を書かれた	2010	35.5%	31.6%	51.5%	41.8%	50.8%	56.6%	49.4%	45.9%	33.0%	48.3%	50.0%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知らない人に悪口を書かれた	2010	38.7%	52.6%	30.3%	30.4%	31.1%	24.5%	34.2%	27.0%	47.7%	30.7%	29.1%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
個人情報が公開された	2010	0.0%	3.5%	0.0%	6.3%	7.4%	7.5%	6.3%	9.5%	2.3%	5.2%	7.8%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
おどされたり、お金を請求されたりした	2010	6.5%	0.0%	7.6%	7.6%	4.9%	0.0%	5.1%	9.5%	2.3%	6.4%	5.3%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2010	19.4%	12.3%	10.6%	13.9%	5.7%	11.3%	5.1%	8.1%	14.8%	9.4%	7.8%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

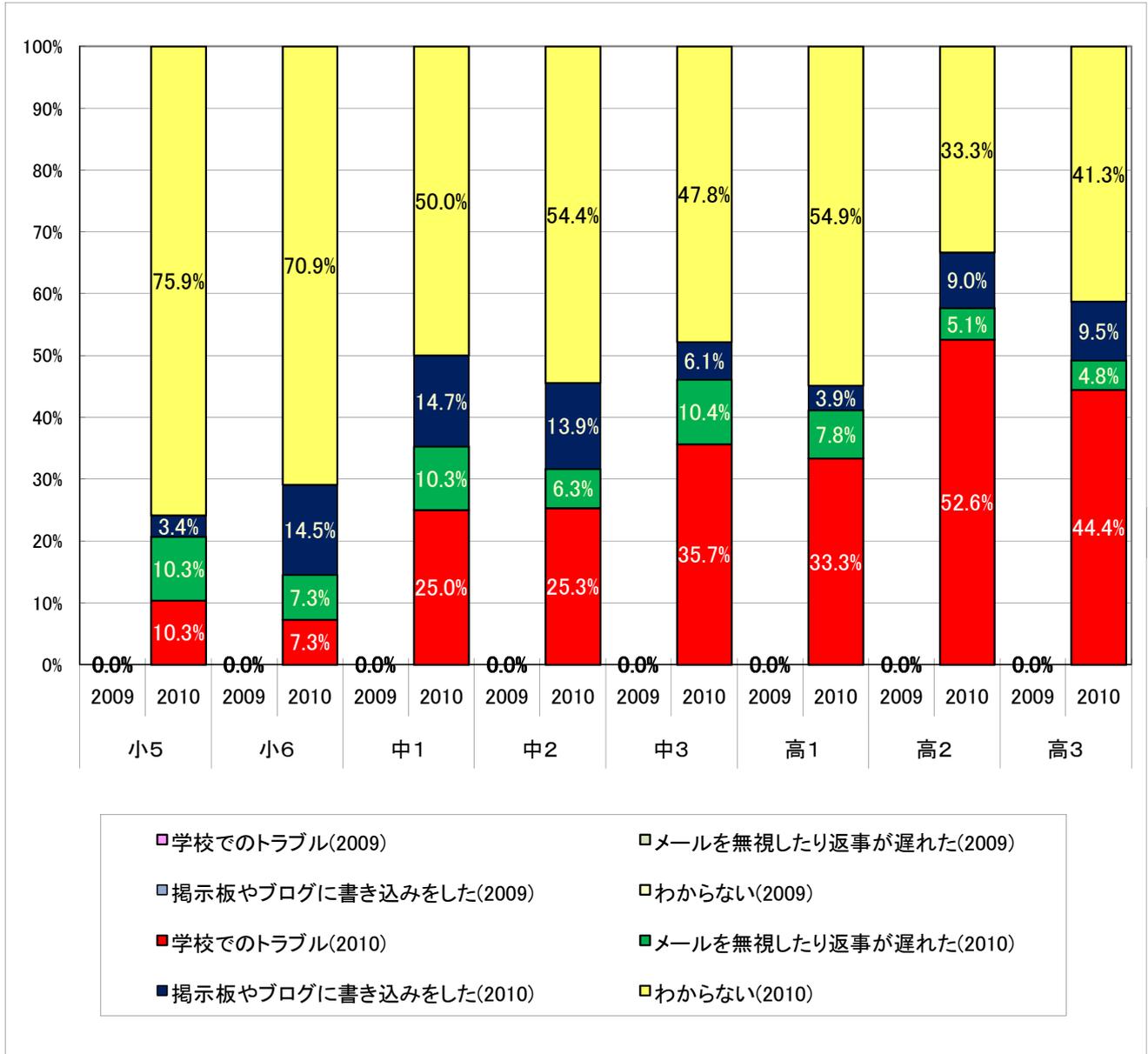


◆どの学年でもネットいじめととらえる理由の7割以上が「友人・他人からの誹謗中傷」であると答えている。特に中高生では多くの学年で「友人からの誹謗中傷」が5割を超え、身近な誰かからの攻撃によって傷ついている状況が現れている。  
 【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照  
 ○学校内の人間関係のトラブルがネットやメールの世界で広がっていくことを教員は常に意識し指導に当たっていかねばならない。自校の学校裏サイト等の監視などを定期的に行うことや児童生徒から情報を集めることを日常的に行っていく必要がある。

**Q19**

何が原因でいじめを受けたと思いますか。(Q17で「ある」と答えた人のみ)

回答	学年	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	小平均	中平均	高平均
学校でのトラブル(もめごと)	2010	10.3%	7.3%	25.0%	25.3%	35.7%	33.3%	52.6%	44.4%	8.3%	29.8%	44.8%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
友だちのメールを無視したり、返事が遅かったりした	2010	10.3%	7.3%	10.3%	6.3%	10.4%	7.8%	5.1%	4.8%	8.3%	9.2%	5.7%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
掲示板やブログに書き込みをした	2010	3.4%	14.5%	14.7%	13.9%	6.1%	3.9%	9.0%	9.5%	10.7%	10.7%	7.8%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理由はわからない	2010	75.9%	70.9%	50.0%	54.4%	47.8%	54.9%	33.3%	41.3%	72.6%	50.4%	41.7%
	2009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



◆「ネットいじめ」を受けた児童生徒の内、小学生では7割以上、中高生では概ね5割以上の子が、理由が分からないまま被害を受けている実態が現れている。学年があがるにつれ学校のトラブルが原因であることが多くなる傾向が見られる。  
 【指導のポイント】ハンドブックP13～15・21～22・24～25参照  
 ○ネットいじめ等が報告された場合は事実を速やかに確認し、掲示板運営会社等への削除請求を迅速に行うよう保護者に助言していく。同時に、自校生徒にも削除請求の事実を知らせ、人権侵害等に関しては厳しい態度で学校も望んでいくことを示していく。